

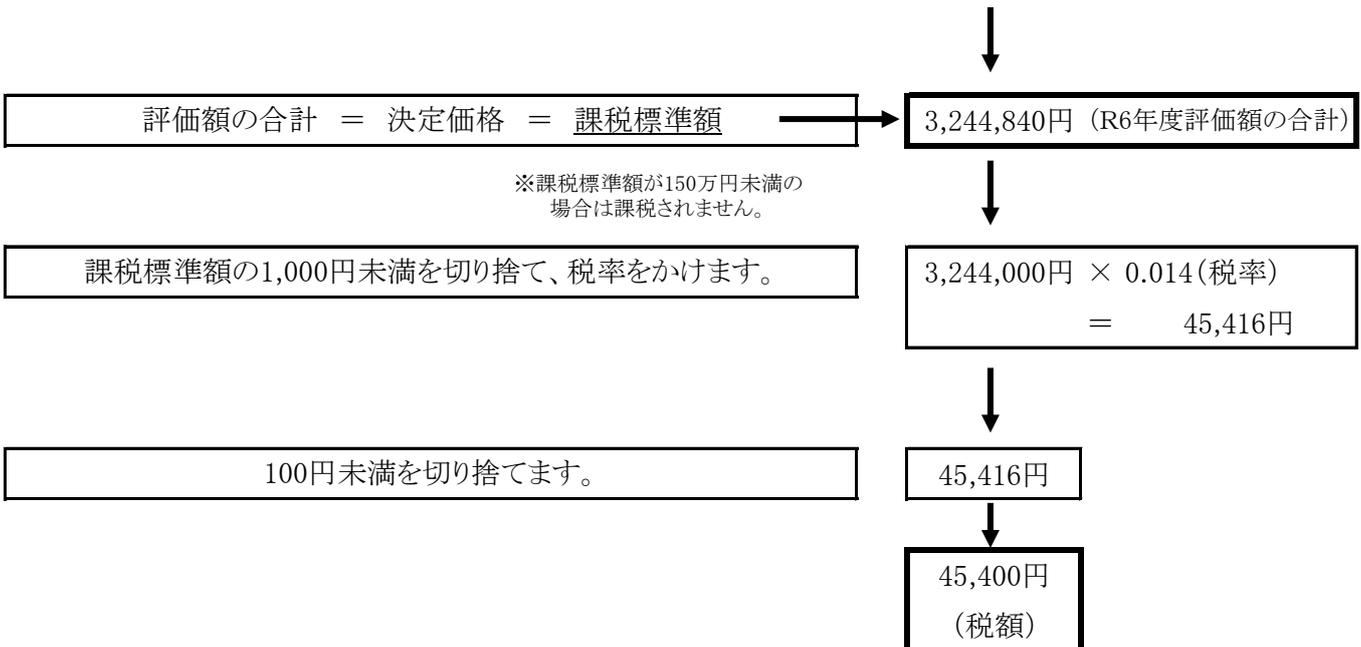
● 計算例

○ 所有する資産を次のとおりとします。

資産の名称等	取得年月	取得価額(円)	耐用年数	減価率
エアコン	令和4年11月	500,000円	6年	0.319
パソコン	令和5年4月	220,000円	4年	0.438
コンクリート舗装	令和5年6月	3,000,000円	15年	0.142

○ 令和6年度の評価額と税額を計算します。

資産の名称等	評価額	
エアコン	初年度	500,000円 × (1-0.319/2) = 420,000円 R5年度評価額 <small>小数点第4位四捨五入</small>
	次年度	420,000円 × (1-0.319) = 286,020円 R6年度評価額
パソコン		220,000円 × (1-0.438/2) = 171,820円 R6年度評価額
コンクリート舗装		3,000,000円 × (1-0.142/2) = 2,787,000円 R6年度評価額



※ 課税標準の特例の適用を受ける資産がある場合の課税標準額は、該当資産の額にそれぞれ特例率を反映させた額になります。